

(★印は、第2刷で修正済)

- ★目次 「付記・厳しかった・・・の調査 片寄俊秀 151」
- ★7 ページ 上段最終行 「・・・(1975～1980)の軍艦島・・・」
- ★10 ページ 下段1行目 「国民住居論攷」
 - ・23 ページ 前頁のキャプションの最後 「・・・小型船のためのスベリと呼ばれた船着場。」
 - ・27 ページ 上のキャプション 「・・・連絡船は社員は無料、家族も格安で利用・・・」
 - ・31 ページ キャプション 「・・・地底まで高速降下するエレベーターは毎日のことでも怖かったらしい・・・」
 - ・32 ページ 上のキャプション 「ボタは坑道の採炭後の埋め戻しや・・・」
 - ・34 ページ 下のキャプションの最初 「手前は圧縮機室や建設会社の飯場、資材倉庫などの鉱場。」
 - ・35 ページ 4行目 「・・・島銀座、塩降町と呼ばれる)・・・」
 - ・35 ページ 6行目 「・・・東の中腹に村道や山道と呼ばれた通路が並行・・・」
 - ・37 ページ 前頁のキャプション 「・・・、その後台風被害で滅失、・・・」
 - ・38 ページ 上のキャプション 「・・・地獄段。ちょうどリヤカーが棧橋から商店へ商品を運んできたところ。」 注:以下は消去。
 - ・39 ページ 上のキャプションの最初 「商店街の北の端は塩降町と・・・」
 - ・39 ページ 下のキャプション 「・・・南に村道を望む。村道は65号棟から・・・」
 - ・55 ページ 前頁のキャプションの最後 「右奥に岸壁ごしに・・・」
 - ・70 ページ キャプション 「・・・31号棟の山側。1952年訪問当時は、・・・」
 - ・72 ページ 下のキャプションの最初 「1939年建築のRC4階の職員社宅、・・・」
 - ・75 ページ 上のキャプションの最後 「上の木造は職員社宅の9号棟。」
- ★84 ページ 上のキャプション 「・・・連絡している。ただし、これは避難路で日常の登下校の利用は禁止されていたらしい。」
- ・86 ページ 下のキャプション 「・・・ブランコ、すべり台と・・・」
- ★88 ページ 下のキャプション 「会社が最も力を入れ、成功した福利厚生・・・」
 - 注:キャプションの最後「会社の福利厚生・・・」以下は削除
- ・98 ページ 下から19行目、右端の欄 「下請組員飯場長屋 撤去後プレハブ飯場に」